

# SCSI アレイコントローラカード PG-144C ご使用前に

このたびは、弊社の SCSI アレイコントローラカードをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本書は、本製品に添付されている『SCSI アレイコントローラカード PG-144C eXtremeRAID 2000』取扱説明書の記述を補足しております。本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

2003年8月  
富士通株式会社

## 取扱説明書の補足事項

### フィジカルバックの最大サイズについて

本製品で作成可能なフィジカルバックの最大容量は 2TB (2048GB) となります。本製品に大容量のハードディスクを接続する場合は、フィジカルバックを構成するハードディスクの容量の合計が 2TB を超えないようにしてください。たとえば、147GB (本製品で使用する場合の実容量約 136.5GB) のハードディスクを使用する場合、136.5GB × 15 = 2047.5GB となり、フィジカルバックを構成できるハードディスクの最大台数は 15 台までとなります。

### RAS 支援サービスについて

本製品には、RAS 支援サービスのフロッピーディスクが添付されております。本製品の定期交換部品 (バッテリー) を監視するためには、RAS 支援サービス Version 3.0 Level 15 以降を使用する必要があります。バージョンを確認の上、旧版数の RAS 支援サービスがインストールされている場合は、添付のフロッピーディスクからインストールまたはアップデートを行ってください。バージョンの確認方法およびインストール/アップデートの方法は、添付の取扱説明書『RAS 支援サービス』を参照してください。

## 取扱説明書内容の訂正について

### ホットスペアディスクについて

取扱説明書 P.16 に示されるスペアディスクの説明に関して、以下のように訂正いたします。

本製品に、異なる容量のハードディスクを同時に搭載する場合は、最も小さい容量のハードディスクで作成されたフィジカルバックに対してのみホットスペアディスクの設定が可能です。したがって、取扱説明書に記載されている以下の場合では、フィジカルバック A にのみホットスペアディスクの設定が可能です。容量の大きい 9GB で構成されるフィジカルバック B には設定しないでください。

